

～ 中学校 技術・家庭科の技術分野 ～

<p>教科 目 標</p>	<p>ものづくりを支える能力や、技術を適切に評価・活用できる能力と実践的な態度の育成を重視 ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。</p>
<p>内 容 構 成</p>	<p>内容の整理 A 材料と加工に関する技術 B エネルギー変換に関する技術 C 生物育成に関する技術 D 情報に関する技術</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4つの内容をすべての生徒に履修させる</p>
<p>指 導 計 画 の 作 成 と 指 導</p>	<p>履修方法の改善 各項目に配当する授業時数及び履修学年については、地域、学校及び生徒の実態等に応じて、各学校において適切に設定 3学年間の学習の見通しを立てさせるガイダンス的な内容を第1学年の最初に履修 小学校における学習を踏まえ、他教科等との関連を明確にして、系統的・発展的に指導ができるよう配慮 例えば、小学校総則に情報教育の学習活動を記載など 道徳の時間の指導との関連を考慮 例えば、望ましい生活習慣の確立や勤労の尊さや意義の理解など</p>
<p>社 会 の 変 化 へ の 対 応</p>	<p>持続可能な社会の構築、ものづくりを支える能力の育成の重視 各内容を「現代社会で活用されている技術について学習する項目」「ものづくりを行う項目」「技術を評価し活用する能力と態度を育てる項目」で構成 創造・工夫する力、他者とのかかわる力及び知的財産を尊重する態度等の育成をめざすとともに、安全・リスクの問題も含めた技術と社会や環境との関係の理解、技術にかかわる倫理観などの育成を目指した学習活動を展開</p>
<p>言 語 活 動 の 充 実</p>	<p>論理的思考や生活の課題を解決する能力の育成 ものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動の充実 生活における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実</p>
<p>授 業 時 数</p>	<p>現行の時数と変化なし 第1・2学年 35時間 第3学年 17.5時間</p>